

4月9日、訪問薬樹薬局 保土ヶ谷の薬剤師と管理栄養士が、地域の介護事業所にて行われた勉強会にて講師を務めました。この日の勉強会には、ケアマネージャー、訪問看護師、地域連携室のスタッフ10名が参加しました。

薬剤師は「居宅医療管理指導の手順と内容」というテーマで、訪問薬剤指導の流れ、ケアマネージャーさんが介入が必要と考えた時に薬剤師にできること等について説明をしました。

管理栄養士は「訪問栄養指導の手順と内容」についてご説明しました。

訪問栄養指導は、在宅療養方のご自宅に管理栄養士が訪問し、食生活や栄養に関する様々なご相談にお応えするものです。まず、食事内容の聞き取り、食生活習慣の聞き取りなど、患者さんが無理なく食習慣を改善できるよう様々なことをお聞きします。また身体計測なども行います。その上で、現在の栄養状態、改善点、食習慣に合わせたメニュー提案などを行います。この日の勉強会に参加された方は、訪問栄養指導についてご存知ない方がほとんどで、大変興味を持っていただきました。

約30分の講義終了後、「訪問薬剤指導、栄養指導の仕組みを知れて参考になった」「薬剤師や栄養士が在宅に介入することの必要性、重要性を改めて感じた」「今後は各ケアマネージャー毎に個別で相談させてもらいたい」等、たくさんの嬉しいお言葉や、今後も症例報告会などを定期的にやっていきたいというご要望を頂きました。当社が講師を務めたのは初めてでしたが、今回の勉強会が「顔の見える関係作り」のきっかけとなりました。

